

平成28年度 十日町市・中魚沼郡社会科部 活動報告

部長 小林 圭介

1 研究主題

資料活用力の育成 ～地域素材の教材化～

2 研究の概要

(1) 期日 8月23日(火) 13:30～16:00

(2) 会場 十日町地域消防本部及び十日町市博物館

3 研究の実際

(1) 十日町地域消防本部について

安心して暮らせる「まちづくり」を目指し、災害に備えた最先端防災システムを実現した十日町地域消防本部の説明を受ける。具体的には、次の基本コンセプトとしている点を学ぶ。

- ・消防活動拠点としての安心・安全性を確保（高い耐震性能、主要部に免震床を導入、災害時などのバックアップ機能を強化）
- ・機能性・効率性を重視（火災・救急時のスムーズな災害出動、緊急消防援助隊などの即時出動対応）
- ・消防救急デジタル無線に対応（消防救急無線をデジタル化し、高機能消防指令センターを新設、城山無線局舎の建設による十日町地域の無線エリアの拡大）
- ・地域環境に配慮（地中熱利用システム、太陽光発電システムの採用により節電・省エネを実現）
- ・親しみやすい設計（事務室を1階に配置し、従来よりもアクセスが容易でバリアフリー、災害対応利用室、ユニバーサルトイレなどの利用しやすい設計）

(2) 十日町市博物館について

十日町地方の特性を生かし、雪と織物と信濃川をテーマとした文部科学省推薦の特色ある博物館であり、国宝、重要有形民俗文化財を収蔵展示している。笹山遺跡出土品、越後縮の紡織用具及び関連資料、十日町の積雪期用具、ジオラマや移築した民家での昔の暮らしの説明を受ける。

4 成果と課題

両施設とも、社会科学習資料として取り上げられている。十日町地域消防本部は、平成28年4月1日に新たにスタートしており、安心して暮らせる「まちづくり」に向けた関係者の努力と取組について、具体的に研修をすることができた。地元に密着した素材であり、教材化への貴重な材料とすることができた。